

2022年度 マテリアルバランス

インプット			アウトプット		
エネルギー使用量		8.94 百万GJ <sup>※1</sup>	温室効果ガス <sup>※4</sup>		438.0 千t-CO <sub>2</sub>
主な内訳	電力	785.2 千MWh	内訳	エネルギー起源 <sup>※5</sup>	370.2 千t-CO <sub>2</sub>
	内 太陽光発電量 <sup>※2</sup>	2.33 千MWh		非エネルギー起源 <sup>※6</sup>	67.9 千t-CO <sub>2</sub>
	石炭	10.0 千t			
	燃料油	2.9 千kL	大気への排出ガス		
	ガス (LPG、LNGを除く)	17.3 百万Nm <sup>3</sup>	内訳	NOx	39 t
				SOx	27 t
水 総使用量		6,176 千m <sup>3</sup>		VOC <sup>※7</sup>	65 t
主な内訳	地下水	4,713 千m <sup>3</sup>		ばいじん	10 t
	上水	810 千m <sup>3</sup>			
	工業用水	652 千m <sup>3</sup>	水系への排出		
			内訳	排水量	5,554 千m <sup>3</sup>
原材料 総投入量		204.5 千t		COD <sup>※8</sup>	107 t
主な内訳	プレーキ用粉材料	57.8 千t		SS <sup>※9</sup>	73 t
	化学物質	57.2 千t			
	鋼材	43.0 千t	PRTR物質		
	綿花・綿糸	22.0 千t	内訳	排出量	21.2 t
	梱包材	8.6 千t		移動量	51.7 t
PRTR物質 <sup>※3</sup> 取扱量		2,625 t	廃棄物総量		51.8 千t
OA用紙 使用量		47,103 千枚	リサイクル廃棄物量		43.4 千t
			製品 出荷量		566.7 千t
			太陽光発電量		3.9 千MWh
			輸送量 <sup>※10</sup>		157.7 百万トンキロ

※1 GJ (ギガジュール) : エネルギーの単位で、1GJ = 10<sup>9</sup>J = 約24万キロカロリー

※2 再生可能エネルギー固定価格買取制度での売電量を除く

※3 PRTR(Pollutant Release and Transfer Register)物質 : 「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」に基づく制度の対象物質で、排出量・移動量の届出を義務付けられている物質

※4 温室効果ガス

・Scope1 :

エネルギー起源温室効果ガス排出量 = Σ[燃料使用量×CO<sub>2</sub>排出係数<sup>※4-1</sup>]

非エネルギー起源温室効果ガス排出量 = 非エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量 + Σ[CO<sub>2</sub>以外の温室効果ガス排出量×地球温暖化係数<sup>※4-2</sup>]

※4-1 「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく排出係数を使用しています。ただし石炭は熱量の実測値に基づき算出した係数(1.896 t-CO<sub>2</sub>/t)を使用しています。

※4-2 「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく地球温暖化係数

・Scope2:

エネルギー起源温室効果ガス排出量 = Σ[購入電力量・購入蒸気量×CO<sub>2</sub>排出係数<sup>※4-3</sup>]

※4-3 購入電力は、日本国内は「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく電気事業者別の調整後排出係数、海外は電気事業者別の排出係数または入手困難な場合は「IEA Emissions Factors」の最新の国別排出係数を使用しています。2021年度以前のデータは、「IEA Emissions Factors 2021」の各年の国別排出係数を使用しています。購入蒸気は、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく排出係数を使用しています。

※5 エネルギー起源温室効果ガス : 燃料消費により発生した温室効果ガス

※6 非エネルギー起源温室効果ガス : 製造工程や廃棄物からの発生等、燃料消費以外で発生した温室効果ガス

※7 VOC(Volatile Organic Compounds) : トルエン等の揮発性有機化合物の排出量

※8 COD(Chemical Oxygen Demand) : 水質の汚濁状況を示す指標で、化学的酸素要求量または化学的酸素消費量

※9 SS(Suspended Solid) : 水中に浮遊する物質質量

※10 輸送量には、公海上の輸送を含まない